

# 「新市立島田市民病院建設基本構想」

## 策定に向けて 意見を募集しています

政策推進課 ☎ 36-7191



市では、建築後35年を経過した島田市民病院の建て替えについて、「新市立島田市民病院建設基本構想」の策定を進めています。この程、基本構想（案）骨子を取りまとめました。現在市民の皆さんからご意見を伺うため「新市立島田市民病院建設基本構想（案）骨子」によるパブリックコメントを実施していますので、その概要をお知らせします。

### ■基本理念と基本方針

新病院の理念および基本方針は、現病院の理念および基本方針を継続するものとします。内容は次のとおりです。

#### 【理念】

地域医療に貢献する。

#### 【基本方針】

- (1) 質の高い医療を実践する。
- (2) 地域の医療、保健・福祉機能と連携する。
- (3) 患者の権利を尊重し、医の倫理を遵守する。
- (4) 優れた医療人を育成する。
- (5) 健全経営を行う。

### ■基本機能の整備方針

#### ▼基本的な機能

市立島田市民病院は、市民の命と健康を守るために、地域医療の中核を担う急性期病院とし

て、二次救急機能や政策的医療をはじめ、安全で安心な医療を安定的に、かつ継続的に行います。このため、新病院においても、現病院の診療科を基本とした機能とします。

#### 【参考】

現病院の診療科（平成26年4月）／内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病・内分泌内科、血液内科、腎臓内科、漢方内科、神経内科、心療内科、小児科、皮膚科、放射線科、精神科、臨床検査科、病理診断科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、麻酔科、歯科口腔外科、救急科、院内標榜科／総合診療科、脳卒中科、健康管理科、輸血療法科、回復期リハビリテーション科、療養科

#### ▼病床数に関する基本方針

新病院の病床数に関する基本方針は、次のとおりとします。病床数／500床程度

内訳／一般病床420床程度

（結核病床8床、感染症病床

6床を含む）、回復期リハビリ

テーション病床40床程度、

療養病床40床程度、（※要検討

精神病床20床程度）

※一般病床には、現病院の結核

病床8床、感染症病床6床を含めるものとして整備します。回復期リハビリテーション病床および療養病床については、現病院と同様に、市民病院入院後に急性期治療を脱した患者の退院調整機能と位置付けて整備します。

現病院における精神病床20床（現在、休止中）については、全病床数500床程度の中に含める方向とし、今後の医師確保の可能性を含め、基本計画段階において設置の可否を継続検討します。

#### ▼建設候補地

建設候補地に求める基本条件から抽出した候補地および島田市総合計画後期基本計画におけるタウンミーティングや市民意見募集などにおいて提案があった候補地を踏まえ、「現市立島田市民病院」「島田市役所周辺」「金谷中学校跡地」「特種東海製紙(株)横井工場」の4カ所を選定対象の建設候補地として抽出し、具体的な比較検討を行いました。

前述4カ所の選定地について、「病院機能としての評価項目（アクセス性、利便性、連携性、防災性、インフラ）」および「土地機能の評価項目（必要

面積の確保、法規制関連、事業実現性）から総合的に評価を行った結果、新病院の建設地を次のとおりとします。

▽「現市立島田市民病院敷地内」（島田市野田1200番地の5）

#### ▼整備スケジュール

新病院は、平成32年度の開院を想定しています。新病院の整備スケジュールは、現時点において、少なくとも約7年間の事業期間が必要であると考えられます。

#### ▼概算事業費

新病院の概算事業費として、約250億円を想定しています。なお事業費は、今後策定する基本計画、基本設計および実施設計の各段階において、建物・医療機器・設備などの具体的な整備内容を検討することにより、より詳細な事業費を算出します。

基本構想（案）骨子についての意見募集を、6月30日(月)まで実施しています。詳細は、市ホームページ（トップページ）「お知らせ一覧」からご覧いただけます。また、意見の提出方法は、広報しまだ5月号13ページをご覧ください。基本構想は7月末までに策定する予定です。